

2007年1月13日

日本地質学会 会長 木村 学

2006年度第7回理事会 議事録

期 日：2006年12月16日（土）10:00～12:30

場 所：北とびあ 701 会議室

出席者：木村会長，伊藤副会長，佃副会長，渡部常務理事・天野副常務理事・上砂・Wallis・大友・狩野・公文・中山・久田・向山 各理事，橋辺（事務局）

欠席理事：倉本・高橋・増田・宮下

*成立員数(12/17)に対し，出席者13名，委任状3名，欠席者1名で，理事会は成立。

庶務関係（担当理事 上砂）

- ・火山都市国際会議島原大会（2007年11月19日—3日，島原市）の後援依頼が同実行委員会（中田節也委員長）があり，了承した。
- ・第21回太平洋学術会議（主催団体）開催プログラム及び参加申込次第が届いた→HP，News誌1月号掲載予定
- ・第4回ジャパンサイエンス&エンジニアリングチャレンジ(JSEC2006)/高校生科学技術チャレンジ（後援）の審査会，表彰式への招待→欠席
- ・第32回リモートセンシング（協賛）終了御礼，参加者49名，発表27件。
- ・学術会議より，「声明 科学者の行動規範について」（冊子）が送付された。→HP，News誌10月号載
- ・学術会議科学者委員会の下に「学協会の機能強化方策検討等分科会」を設置，学協会の自己改革に向けた検討に資する方策を示す。
- ・消防庁消防技術政策室 消防より，平成19年度の「消防防災科学技術研究技術推進制度」公募案内→News誌12月号，HPに掲載。
- ・三菱財団より，平成19年度「自然科学助成」ほかの公募案内→News誌12月号，HPに掲載。
- ・三菱マテリアル資源開発(株)の社長の交代，新：後藤貢（前：青木剛）
- ・東京学芸大学教官公募記事掲載依頼→News誌12月号に掲載
- ・北海道史研究協議会ほかから，道立博物館施設等への指定管理者制度導入に関する要望書提出の礼状があった。約40団体から要望書が寄せられ，当局の理解を得る一定の成果があったとのこと。
- ・大矢暁会員逝去に際し，応用地質(株)社長の礼状および佐々木役員の来訪挨拶があった。

<検討，確認事項>

- 1) 産総研地質調査総合センターより，「地質の日」提唱共同発起人の依頼
 - ・5月10日が候補日となっている。共同発起人を承諾。
 - ・地質の日が制定された場合は，地質学会としても支部などが呼応して，全国一斉に行事を開催して盛り上げる。
- 2) 学術会議地球惑星科学委員会主催による，IYPEシンポジウム「国際惑星地球年2007-2009」，国際地球惑星年開催宣言式典について協賛依頼（近々に主催者から正式依頼がある）
→依頼があれば協賛する。
- 3) 大学評価・学位授与機構から依頼のあった，平成19,20年度の機関別認証評価に係わる専門委員候補者の推薦については下記の6名の方々を推薦することを確認した。
木村 学，齋藤靖二，立石雅昭，永原裕子，三宅康幸，田崎和江
- 4) NII（国立情報学研究所）より，電子図書館サービスにおける平成19年度の公開条件の

変更の要不要の問い合わせについては、変更なしとする。
現状の公開条件（いずれも機関別定額制を許諾）

1. 地質学雑誌：冊子発行3ヶ月後無料公開
2. 地質学論集：冊子発行1年以内非公開，1年後500円/1論文
3. 大会講演要旨：冊子発行6ヶ月後無料公開

会員関係（担当理事 中山）

- 1) 入会の承認
正会員(1)：守屋俊治
正会員割引(1)：中倉弘道
- 2) 逝去(正2)
曾屋龍典(6/7) 大矢暁(11/13)，

<検討，確認事項>

- 1) 名簿発行の実現に向けて，今後の対応と会員への周知について
 - ・名簿発行アンケート回収数 約1500通
 - ・名簿発行の続きとしては，アンケートを，News誌，HP，年会会場での配布と呼びかけを通して実施してきた。これにより，個人情報保護法18条と24条による従前の個人情報利用が可能であるとの判断をし，回答のなかった約3000名の会員については，前回並みの掲載項目にて掲載する。最終的な手続きとしてNews誌，HPに広報記事を掲載し，2月15日まで更に最終確認をとった上で名簿を発行する。ただし，今年度内の発行はむずかしく，来年6月発行を予定する。

自然史学会連合（担当理事 天野）

連合の意志を学術会議の議論の場に伝え，反映させることのできる，連携会員の名簿の提供依頼については，学会会員を示した名簿を提供して齋木委員に選出してもらうこととする。

会計関係（担当理事 向山）

- ・準備委員会から高知大会の会計収支報告をうけた。収支の差はごく小額(-5万)であった。大学施設の無料使用，自治体からの助成金(100万円)，企業展示ブース収入(50万円)

<検討，確認事項>

- 1) 2007年度収支予算案(概算)について
会員の減少による収入の減少傾向と，事業方針に基づく事業費の削減不可による収支のバランスは，単年度的には支出超過となる。会費の未徴収をなくすために何らかの策が必要。
- 2) IUGS理事会の経費負担要請について
総経費154万円，関連学会への要請額120万円
地質学会20万円，他関連学会50万円，産総研50万円
当初予算にない支出であることから，多少の異論も出たが，要請に応じて20万円を支出することを了承した。その際に，地質学会からの財政支援が明示されるような方法を検討いただくこととした。
 - ・札幌大会の予算規模，参加登録費の見直しの必要性について
自治体からの助成金はほとんど望めず，行事内容を充実させる方針となれば，参加登録費などの調整が必要となることが報告された

広報委員会(担当理事 大友)

- ・アイランドアーク掲載論文(15巻4号)のプレス発表を実施。毎日新聞に掲載された。

インターネット運営小委員会(委員長 坂口有人 担当理事 大友)

来年度のホームページリニューアルにむけて、地質学会情報ネットワーク強化部員といっしょにコンセプト・スタイル・コンテンツ充実などについてメールで議論中。

2007年1月13日(土)夕方-1月14日(日)に東京でインターネット運営小委員会+地質学会情報ネットワーク強化部+αでブレインストーミングを開催し、新しいHPのビジョンを議論する。

行事委員会(久田委員長)

<検討, 確認事項>

1) 評議、報告事項の整理

評議事項の3に「札幌大会について」とありますが、すでに11月理事会で方向が確認された「札幌大会への要望」が準備委員会との懇談(12月2日)が伝えられ、そのことも考慮しながら準備が始まっている。従って、評議事項3は、理事会ならびに評議員会議長の了承を得てはまずこととした。報告事項2の1) 行事委員会報告を補強するために資料を1つ追加した。

2) 札幌大会推進委員会

11月理事会で確認された「準備態勢を、行事委員会、準備委員会、理事会等で仕分けを進めておく」に基づいて、12月2日の札幌懇談会では「理事会に札幌大会推進委員会をつくる。概ね行事委員長が大会の中軸的部分を、企画部分を担当理事が現地と協議しながら支援する。全体の連携については4役が調整する。来年5月から着任の新理事予定者も推進委員会に加わる。」という提案をした。札幌大会での、行事委員会による基軸的部分の確実な推進と、新たな企画の成功のためには、このような役割分担・調整機関が必要である。その準備会合(当面、正副会長と久田行事委員長で出発。司会は伊藤)を、本理事会直後に開催する。

3) 2008年秋田大会の開催期日と巡検について

開催日候補 ① 9月20(土)―22日(月) ② 9月26日(金)―28日(日)

・岩鉱学会との共催について

概ねで、来年鉱物学会と岩鉱学会との合併による「鉱物科学会」との共催が決まった。準備委員長は、水田敏夫氏。

・日程案としては、「鉱物科学会」は25日～26日、地質学会は26日～28日とし、26日を共催日とする、4日間と考えているとのこと。

4) 院生、学生の懇親会参加費の検討の余地について

針金評議員から、アンケートの結果が提手出された。評議員会で同評議員に説明していただく。

5) 2009年西日本支部での年会は、2月10日の支部総会で開催地を決定予定。

専門部会連絡委員会

1) 構造地質部会(部会長 高木秀雄): 3月18日和歌山県田辺市において普及講演会を予定、田辺市、白浜町、和歌山県教育委員会に後援をいただく予定。

国際交流委員会(公文 国際特任理事)

<検討, 確認事項>

1) 日韓学術交流協定ほかについて

・韓国との協定書案、ならびに交流内容を検討し、評議員会に諮ることとした。

地質学雑誌編集委員会(委員長-狩野 副委員長-久田, 宮下=企画担当)

・現在の編集状況、特に2月号のストック原稿が不足していることが報告された。また、再々のリジェクトに関わらず、4度目の投稿をされた論文に対する扱いについて、編集委員会が肅々と対応するとの方針が報告された。

Island arc 連絡調整委員会（委員長 会田，担当理事 Wallis）

< 検討事項 >

- ・平成 19 年度の科研費申請を行った。会計管理・監理体制についても審査の対象となることとなり，追加資料の提出が求められた。
- ・採択後は交付申請の際に，1)見積書の再提出と所定の契約手続き（直接出版費 250 万円以上のものは，競争入札）をふむこと，2)経費の使用明細書および見積書提出の義務化，3)実績報告時には収支簿および預金通帳の写しの提出の義務化などが新しく決められた。
- ・本年はすでに補助金の交付がなされているので，来年 4 月の実績報告の際には，上記の 3) 項が適用されるものと思われる。
- ・今後の申請については根本的な検討が必要と思われる。
- ・ブラックウェル社がジョンワイリー社に買収合併されることになった。今のところこのことで問題は起きていない。
- ・会田委員長の報告に基づいて，今後の問題点を確認し，評議員会では概要を説明することとした。

名誉会員推薦委員会（伊藤副会長）

- ・下記階層別の委員，理事会代表委員を選出し，評議員会に提案することとした。
支部長 7 名：宮坂省吾，高島 勲，清水恵助，新妻信行，八尾 昭，村田明広，西田民雄
階層別 4 名：大学 磯崎行雄，小中高 紺谷吉弘，会社 安間 恵 ，官公庁 石垣 忍
理事会 1 名：中山俊雄
- ・今後のスケジュール
次回の評議員会までに候補者を選出し，2007 年の総会に提案する

< 次回以降の理事会開催予定 >

07 年 1 月 13 日（土）12:00-17:00 学会事務局

以上

議事録署名人

㊟

㊟